



# 公益社団法人 沖縄県理学療法士協会



会長 池城 正浩

新年あけましておめでとうございます。

2013年は、皆様にとってどのような年でしたか。五輪招致が決定し、流行語大賞では、「今でしょう」「倍返し」「お・も・て・な・し」「じえじえじえ」の受賞作が最多となり印象に残る一年だったような気がします。午とは、十二支の中間に位置し、十二進法では、前半（午前）が終わり後半（午後）が始まる位置にありその交差点を「正午」ということで、ある意味節目の年かもしれません。当協会も歴史を積み重ねる上では、毎年毎年交差点に遭遇しています。右折が良いのか、左折が良いのか、そのまま直進か、それとも停止するのか、未来を予想する事は、とても難しく様々な社会状況の変化に対応していかなければなりません。2014年は、予測が出来ませんが、診療報酬の改定、消費税引き上げ等、昨今の異常な気象状況と同じく想定内もしくは想定外の事が起きるかもしれません。しっかりと土台を固める事で難を逃れることが出来る事でしょう。

さて日本理学療法士協会では、「地域包括ケアシステム」へ参入するためにどのようにしたら良いか準備をはじめました。これから高齢化が進み社会保障制度の中で「医療・介護サービス」を都道府県または市町村単位で計画し行動するようになります。その流れにリハビリテーション専門職としての理学療法士の真価がますます問われてくるでしょう。現在、病院施設等で勤務している理学療法士も目の前の患者さんや御家族の生活が安心・安全に暮らして行けるように願っていると思います。その為にも「地域包括ケアシステム」参入し、リハビリテーション専門職としての知識や技術を提供し、その役割を果たしていく事が重要となってきます。交差点は事故の発生率が高い場所です。しっかり周りを見て安全確認を怠らず、進むべきところに進むように個々の尽力が必要になってくる午年になることでしょう。

最後になりますが、皆様の益々のご健勝とご活躍を心より祈念し年頭の挨拶とさせていただきます。